

平成18年12月24日

「鹿島鉄道」存続再生ネットワーク  
代表 長谷川 功 様

鹿島鉄道対策協議会  
会長 横田 凱 夫

### 鹿島鉄道線事業者公募の審査結果について

師走の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、鹿島鉄道線の運行事業者公募に際し、短期間の公募期間にもかかわらず、ご応募いただきましてありがとうございました。

さて、今回のご提案内容について、慎重なる審査を行いましたが、その結果、誠に不本意ではありますが、ご提案に沿いがたい結果となりましたので、ご通知申し上げます。せっかくのご提案に承えられませんが、何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。

また、今回の審査結果に至りました主な理由については、下記のとおりとなります。

### 記

#### 1. ご提案の内容について

ご提案の中には、沿線市民・利用者、事業者、行政・議会が三位一体となった努力・協働・熱意が必要であること、また、バイオトレインの計画など、大変貴重なご提案もありました。

しかしながら、岡山電気軌道株式会社との運行委託の内容について、詳細が明確ではなかったこと、また、運行委託という方式での第1種鉄道事業の許可取得について、関東運輸局に確認を行ったところ、事業許可とは別に運行管理等の受委託についての許可が必要とのことでしたが、ご提案の内容では現在の岡山電気軌道においてはアドバイスの協力はできても、受託に必要な要員確保等まで協力を得ることは難しく、実際に運行管理委託の許可を得ることは困難なのではないかと判断しました。

また、5年間で20%の増客のご提案についても、毎年度減少が続いている鹿島鉄道の現状を考えると、厳しい状況にあるのではないかと判断いたしました。

#### 2. 鹿島鉄道株式会社への協力要請について

ご提案の内容については、鹿島鉄道株式会社の意向による部分が大きいこともあり、鹿島鉄道対策協議会として、以下の内容を鹿島鉄道株式会社に協力を要請し、回答を得ております。

## ◆協力要請事項

- ①新規の引受事業者が決定した場合は、鉄道用地・鉄道施設・鉄道設備など、新事業者に無償譲渡もしくは無償貸与すること
- ②新事業者が運行開始できるまでの間、鹿島鉄道株式会社が運行を継続すること

## ◆協力要請に対する回答

- ①鉄道諸施設の無償譲渡もしくは無償貸与の要請については、鹿島鉄道株式会社の直近の財務状況において、繰越欠損金及び借入金等の負債残高も多額にのぼり債務超過の状態にあり、債権者に対して、鉄道施設を含む保有資産の適正な譲渡により、早期に債務を弁済していく計画にある。このような財務事情から、鉄道施設（鉄道用地）を無償譲渡および無償貸与の要請には応じられない状況にある。
- ②鹿島鉄道株式会社が新事業者の運行開始まで事業を継続する件については、保安設備や車両等は老朽化が著しく進んでおり、短期間とはいえ運行の安全を確保するためには、設備の補修や点検に相当の時間と費用を要する。さらに、運転士などの鉄道従業員は、鹿島鉄道線廃止と同時に出向元の関東鉄道株式会社が引き受け先となる旨の計画をすでに両者の経営計画に織り込んでおり、事業継続のための要員の確保は現実的に不可能な状況にあり、要請には応じられない状況にある。

以上のことを総合的に判断し、今回の結果となりました。せっかくのご提案に承えられませんが、何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。

## 連絡先

鹿島鉄道対策協議会事務局（石岡市企画部企画課）

〒315-8640 茨城県石岡市石岡3165-2

TEL 0299-23-1111

FAX 0299-22-3684